

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
40	B-07000135	男性	10歳未満	102mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤2回目服用後、ベッドの上で跳び始めた。何かにおびえてる様子。異常行動発現。38℃台。2日後、異常行動回復。
41	B-07000136	女性	40歳代	150mg	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害(記憶)発現。
42	B-07000148	男性	10歳未満	100mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与終了2日後、意識障害、痙攣発現。同日、回復。
43	B-07000150	男性	20歳代	不明	アセトアミノフェン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル処方。発熱38℃。夜、本剤服用3時間後、「死神が見える」と訴える。幻覚発現。翌日、インフルエンザ脳症の疑いで、入院。
44	B-07000151	男性	20歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。投与開始4日後、異常行動発現。翌日、異常行動回復。
45	B-07000152	女性	10歳未満	100mg		痙攣	回復	40.5℃の発熱と腹痛のため、母親同意の下、リン酸オセルタミビル処方。一回目の本剤服用約20分後、いびきをかいて寝ているような状態であったため、心配になって確認したところ、口から泡を吹いているような状態で、再受診。その際、顔は真っ青で、唇はチアノーゼがでていたとのこと。再受診の際は、目は開けているがぼんやりとしており、両親の問いかけにも反応が悪かったとのこと。けいれんが見られており、抗けいれん薬などの処置により回復。
46	B-07000155	女性	50歳代	75mg	アセトアミノフェン	自律神経失調 意識レベルの低下	軽快 回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを処方される。服用後、就寝。翌朝、服用後、腹痛のためトイレに入る。冷汗が出て気付いたら意識喪失で倒れているところを夫が発見。歯3本折る。顔の外傷、頭部血腫。自律神経系異常、意識消失発現。他院でCTをとったが異常なく、現在治療中。発見時、大きないびきをかいていた。
47	B-07000157	男性	10歳未満	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。熱せん妄発現。見えないものが、見えるとおびえていた(40.5℃。)翌日、熱せん妄回復。5日目、本剤投与終了。
48	B-07000160	女性	50歳代	150mg	臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸プロカテロール ラミブジン シクロスポリン	意識消失	軽快	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始(5日間)。意識消失発作が発現。投与終了後、3日目、意識消失発作にて自宅で倒れているところを家族が発見した。その後、意識はすぐに回復した(生体肝移植後で病院に通院中であり、同病院の医師に相談し、本剤はそのまま内服を続行したが、その後、意識障害はなかった)。
49	B-07000161	女性	10歳代	不明		痙攣	不明	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。翌日、本剤内服1時間後にけいれん発現。本剤投与中止。
50	B-07000164	男性	10歳未満	130mg		痙攣	軽快	インフルエンザウイルス感染治療の為、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日、けいれん、自動運動発現。同日軽快。

No.	識別番号	性別	年代	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
51	B-07000200	女性	10歳代	150mg		意識消失	回復	インフルエンザBの診断のため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、急に目が見えないと言ひ意識を失い、その後眼球が上転し四肢がつっぱる様な痙攣を起こしたが、数分で回復。37.6℃。翌日、インフルエンザ軽快。
52	B-07000201	男性	不明	150mg		譫妄 痙攣	不明 不明	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。翌朝服用後、突然うわ言、痙攣発現。そのまま寝てしまう。夕方、回復し、本剤を服用すると再び同じ症状出現。嘔吐もあり。 本剤服用中止。
53	B-07000202	男性	10歳代	不明	バルプロ酸ナトリウム ゾニサミド	痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、痙攣発現(2分間)。CT検査異常なし。服用開始2日後、回復。
54	B-07000204	女性	30歳代	75mg		自傷念慮	回復	本剤服用後、腕を切りたくなるといった自傷願望発現。その後回復。
55	B-07000205	女性	60歳代	75mg		意識消失	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 翌日、意識消失発現。廊下でまえのめりに転倒、顔を床にうつ。本剤服用中止。
56	B-07000208	男性	20歳代	不明	非ピリン系感冒剤(4) テブレン 臭化チキジウム	異常行動	回復	インフルエンザ検査は陰性であったが、発熱38.2℃。インフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。服用30～40分経過後に車で帰宅。運転中に突然、脱力感を感じハンドル、ブレーキの操作も出来ない状態になった。10分後、回復。翌日、本剤を服用したが特に症状はなし。
57	B-07000211	男性	10歳代	150mg		うつ病 無感情 自殺企図	未回復 未回復 未回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後、抑うつ、無気力、自殺企図発現。 服用開始4日後、服用中止。
58	B-07000213	男性	30歳代	不明		双極性障害	不明	インフルエンザ治療のために、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目ぐらいに不安感、孤独感が発現。5日間服用したが、その後、虚脱感、体に力が入らない、尿の回数が2回/日に減少し、精神科を受診。軽躁状態、双極状態と診断され、それ以降、精神科から投薬を受けている。
59	B-07000214	男性	10歳代	75mg	セフボドキシムプロキセチル 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン	異常行動	回復	38.9℃と発熱。インフルエンザB型と診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用後、異常言動発言。寝ていたのが起き出し、意味不明の発言あり、何かをさがす様な動きをくり返した。家族の声には全く答えず20分程で回復。その後著変なし、本人全く記憶なし。
60	B-07000216	男性	30歳代	不明		異常行動	軽快	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、異常行動発現し、入院。
61	B-07000217	男性	10歳代	150mg	一般用鼻炎薬	精神障害	回復	インフルエンザB型にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用終了後、発汗量が減少し、本人が頭がぼーとするといった自覚症状を訴えた。精神障害発現。翌日も同様。服用終了3日目、脳波で異常が認められ、服用終了4日目に入院。脳波では異常所見認めるが少しずつ改善。服用終了11日目に症状改善し、退院。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
62	B-07000226	男性	20歳代	150mg	麻黄湯 塩化リゾチーム	うつ病	回復	インフルエンザ疑いにてリン酸オセルタミビル処方。内服して就寝。服用後、「死にたい」と訴えるなどの異常行動発現し、2回目服用中止。この時、39.1℃。翌朝、38.5℃の発熱、全身倦怠感あり。夕方、39.3℃。再び、「死にたい」と感じたが、前日より落ち着く。その後、解熱。当時の記憶はあまりなしとのこと。
63	B-07000227	女性	青少年	75mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。トイレの前で急に倒れた。異常行動発現。近くの救急病院で点滴。
64	B-07000228	男性	10歳代	150mg		意識消失	回復	インフルエンザにより、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、服用後、トイレにて倒れていた。2～3分で意識が回復した。
65	B-07000229	女性	50歳代	150mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン セラペプターゼ	幻覚 幻視	軽快 軽快	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、気分不良、嘔気が出現。ふらつきがあり、足が倍程に太くなる等の幻覚が発現。翌々日の朝、MRI施行するも異常なし。幻覚、幻視は軽快。
66	B-07000231	女性	50歳代	150mg		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用4時間後、トイレで倒れ意識消失1分位あり。救急車で来院。応答できるがぼんやりした感じ。上肢の脱力と嘔気がある。翌朝、症状改善し、退院。倒れたときの記憶はなく、意識消失は確かにあったものと考えられる。
67	B-07000241	男性	10歳未満	96mg	塩酸シプロヘパタジン 塩酸アンブロキシソール 塩酸クロフェダノール ロキソプロフェンナトリウム	譫妄	回復	インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル投与開始。夜、2回目投与後、「怖い、怖い」とうわ言を言った。異常行動・うわ言発現。4日後、異常行動・うわ言回復。
68	B-07000242	女性	10歳代	不明		脳梗塞	不明	詳細不明
69	B-07000243	男性	10歳未満	不明	テオフィリン برانلカスト水和物 ツロブテロール	意識消失	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用1時間後、突然笑い出す、しばらくして消失。再度、本剤及び他薬剤を服用後、両眼球が左上向きになり、口をバクバクして、呼びかけにも応じず、唇の色が悪くなったので、指を口の中へ入れて吐かせる等の対応をした。
70	B-07000245	男性	40歳代	150mg		自殺既遂	死亡	一年以上前、インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。次の日、自殺。
71	B-07000256	女性	10歳代	150mg		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。投与4日目、意識レベルの低下発現。
72	B-07000257	男性	10歳代	150mg		幻聴 幻覚 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、本剤3回目を服用後様子がおかしくなり暴れだす。幻聴、幻覚、異常行動発現。他院入院。翌々日、回復。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
73	B-07000263	男性	50歳代	150mg	酒石酸ソルピデム アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚、異常行動発現。本剤投与中止。自宅にて発現したため、一過性の脳虚血発作を疑い、検査のため入院。結果は脳虚血発作の可能性は薄いとのこと。
74	B-07000267	男性	10歳代	138mg		譫妄	回復	体温37.8℃で来院。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用開始2日目、夜から未明にかけて、うわごとが続く。服用開始3日目に中止。服用中止翌日、うわごと軽快。
75	B-07000270	女性	10歳未満	18mg		痙攣 発育遅延	回復 不明	インフルエンザワクチン接種後、感冒様症状出現。ワクチン接種翌日、感冒様症状は軽快。ワクチン接種4日後、再び感冒様症状あり、迅速検査でインフルエンザ陰性。対症療法薬剤を1~2回服用。再度、感冒様症状発現から2日後、38.6℃発熱。リン酸オセルタミビルを服用。本剤服用約20分後、脱力、意識消失、チアノーゼ、痙攣を生じた。本剤服用45分後頃、病院にて間代性けいれん、意識障害に対しジアゼパムを投与。10分後、痙攣が止まる。約90分後、意識清明、神経学的異常なし。その後は服用なし。5日後、下肢機能不良。発達障害あり。
76	B-07000276	女性	50歳代	150mg		痙攣 外傷性仮死 脳症	不明 回復 (後) 未回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。一回服用後、痙攣、意識レベルの低下発現。本剤投与中止。翌朝、普段と変わらない状態を確認後、食事。その後、食事をのどに詰め倒れているところを発見。
77	B-07000277	不明	小児	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビル処方。服用5日目に譫妄の症状が発現し入院。入院時インフルエンザウイルスは陰性。服用6日目、譫妄は回復。
78	B-07000278	男性	10歳未満	88mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、異常行動発現。その後回復。
79	B-07000282	男性	10歳未満	不明	塩酸レセルピリン酸ジメチル アミノエチル ヒベンズ酸チペピジン 塩化リゾチーム アセトアミノフェン 塩酸プロムヘキシン	異常行動	軽快	リン酸オセルタミビル投与後30分後、口を噛むようなしぐさを繰り返す。服用3時間後、多弁、幻覚、物を取るようなしぐさを発現。同日夕方、入院。脱水傾向もあり。体温38.8℃。翌日、軽快。
80	B-07000285	女性	10歳未満	不明		痙攣	回復	インフルエンザの疑いの為、リン酸オセルタミビル投与開始。熱性痙攣発現。インフルエンザは陰性。熱性痙攣回復。
81	B-07000287	女性	50歳代	75mg		落ち着きのなさ	回復	インフルエンザA陽性であり、症状の訴え強いため、リン酸オセルタミビル75mg服用後、透析開始。服用20分後、息苦しさ出現。SpO2 90%。O22リットル開始後、98%に改善するが、その後起座呼吸。不穏状態となる。胸部レントゲン上(透析1時間後)うっ血を認める。服用1時間後、心不全、不穏の為、入院。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
82	B-07000289	女性	10歳代	150mg		意識消失 痙攣 意識消失	回復 回復 回復	診察時38.4℃。インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル5日分処方。服用終了後、解熱。服用終了2日目、意識喪失し、痙攣発現。その日のうちに受診。意識喪失、痙攣回復。服用終了3日目、再度、食事中意識喪失で2、3分倒れる。意識喪失回復。神経内科に検査のため入院(1週間)。検査では異常は認められなかった。
83	B-07000290	男性	高齢者	150mg		妄想	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。翌日、精神異常(妄想)発現。常に後ろから誰かに邪魔されている、邪魔されている人から逃げる。逃げ切った後に急にその人が前に現れるといった症状が、本剤服用後に確認された。本剤服用中止。症状回復。
84	B-07000293	男性	10歳未満	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用開始2日目、熱はなし。服用開始3日目、突然泣き出す等の異常行動発症。
85	B-07000899	男性	10歳代	75mg		激越	回復	発熱39.2℃。インフルエンザB型診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤75mg服用した夜に興奮(興奮してあばれだした)発現。患者の家族からTELがあり、その後は本剤は服用していない。
86	B-07001281		10歳未満	112.5mg		睡眠驚愕 悪夢	軽快 軽快	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用による幻覚がトラウマになり、悪夢、夜驚症が発現。インフルエンザ発症から約2カ月後、副作用の訴えからジアゼパム処方。悪夢、夜驚症軽快。

## 死亡症例一覧 (平成19年3月21日～4月17日に第一報報告のあったもの) (その2)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-06025952	女性	10歳未満	18mg	エチルコハク酸エリスロマイシン d-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸アンブロキシソール ヒベンズ酸チペピジン ツロブテロール	心肺停止	死亡	18:00インフルエンザ陽性。リン酸オセルタミビル18mg1回内服。翌3:00、「呼吸苦しそう」との連絡あった後、呼吸停止となり来院。挿管し、人工呼吸するも回復せず。救急車にて他院に搬送するも死亡が確認された。 (3月20日までの医療機関報告(精神神経症状)のNo.117に同じ)
2	B-07000062	男性	30歳代	150mg	麻黄湯	突然死	死亡	38℃の発熱あり。インフルエンザAの診断のため、リン酸オセルタミビルを処方。その場で服用。9時間後、2回目服用。普通に会話し、普通に歩いて寝た。深夜、家族が様子を見に行ったところ呼吸をしていないのに気づき、救急車を呼んだ。救急隊が到着した時には心肺停止状態。心肺蘇生を行うも改善せず、死亡が確認された。 死体解剖の結果、脳、胸部、腹部臓器に心肺停止をきたすような明らかな所見なし。
3	B-07000098	男性	10歳未満	70mg		脳炎	死亡	A型インフルエンザ罹患者との接触があり、また化学療養中で免疫機能低下状態のため、感染予防目的でリン酸オセルタミビル投与開始。 敗血症発症。服用から3日目、髄膜炎を発症(細菌陽性)。 (合併:急性骨髄性白血病)
4	B-07000103	女性	20歳代	150mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール ロキソプロフェンナトリウム テオフィリン ツロブテロール フマル酸クレマスチン マレイン酸イルソグラジン ファモチジン ピオチアスターゼ2000配合剤(19) 塩酸シプロフロキサシン 塩酸テトラサイクリン スルピリン ケトプロフェン	心肺停止	死亡	咳、咽頭痛、鼻汁、38.2℃の発熱あり。インフルエンザB型と診断し、リン酸オセルタミビル処方。同日夜から嘔気が発現。服用2日目、立ちくらみのような症状あり、食べられず、薬も飲めず。服用3日目、血圧:110/68、体温:38.0℃。点滴治療を行い症状軽快。食事摂れた。数時間後、嘔気軽快。 服用4日目も同様に、嘔吐発現し、点滴にて軽快。服用5日目、朝、救急車に搬送中に心肺停止。蘇生行ってもなくなったとのこと。
5	B-07000104	男性	60歳代	75mg		痙攣	死亡	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg服用。5時間後の翌未明、けいれん(全身性)発症。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
6	B-07000195	女性	20歳代	150mg		急性心不全 急性呼吸不全	死亡 死亡	発熱・咽頭痛・頭痛を認める。その3日目の朝、39°Cの発熱。同日夜、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与される。次の日、本剤内服するが、その後腹痛出現し、飲めなかった(1カプセル又は2カプセル服用後、中止)。投与開始3日目、体温35.9°C、腹部所見は心窩部に圧痛認めるものの腹壁soft。グル音正常。食欲なし。投与開始4日目、救急搬送される。腹部所見は前日と同様。月経痛で腰痛もありとの訴えあり。 投与開始5日目、午前3時頃、四肢末梢にチアノーゼがあり。気管内挿管。人工呼吸、心マッサージ等を行うが、午前6時半頃、死亡確認。
7	B-07000196	女性	80歳代	75mg	クラリスロマイシン トラネキサム酸 塩酸アンプロキシロール 乳酸リンゲル液(マルトース加) 幼牛血液抽出物	心肺停止 低酸素症 胃腸出血	死亡 死亡 死亡	38.4度の発熱があり、インフルエンザA型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを処方。その後自宅に戻った。同日夕方、本剤1カプセル服用。深夜0:30、心肺停止状態となり、救急搬送される。挿管、ボスミン静注で心機能は回復したが、肺機能が回復せず、人工呼吸器使用。救命措置により持ち直し、入院。その5日後、死亡。
8	B-07000230	男性	10歳未満	不明		死亡	死亡	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル投与開始。 夕方、本剤服用。その後、就寝。30分後、トイレ。1時間半後、うつ伏せで寝ていた。ぐったりしていて反応なし。病院に救急搬送されるも死亡。
9	B-07000245	男性	40歳代	150mg		自殺既遂	死亡	一年以上前、インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。次の日、自殺。
10	B-07000268	男性	10歳未満	27.5mg	アミノフィリン	肺水腫	死亡	受診時39.6度。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、起き再度入眠。服用2時間後、左側臥位で呼吸停止状態に気付かれ、救急搬送。服用3時間後、死亡。司法解剖で高度肺水腫(肺炎なし)、脳浮腫高度(脳ヘルニアなし)、microgliosis、星状突起断裂にて「インフルエンザ脳症と矛盾しない」とされた。
11	B-07000269	男性	30歳代	150mg	スルピリン	肺水腫	死亡	受診時37.5°C。B型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後本剤150mg服用し、就寝。翌朝、仰臥位、心肺停止状態で発見され死亡診断。 剖検結果より、推定死亡時刻は就寝3時間後。主要所見としては、拡張し重い心(448g、炎症なし)、肺水腫(肺炎なし)、尿トリアージ検査陰性、血中トロポニン検査陰性。拡張型心筋症による急性左心機能不全と診断。
12	B-07000271	男性	50歳代	75mg	トシル酸スルタミシリン ジアゼパム 塩酸プロメタジン シメチジン ウルソデスオキシコール酸 オランザピン 非ピリン系感冒剤(4)	死亡	死亡	咳嗽、39度以上の発熱あり。インフルエンザA陽性と診断。服用時間不明。布団上で伏臥位で心肺停止状態。死亡。
13	B-07000407	女性	60歳代	75mg		突然死	死亡	インフルエンザ感染症に対し、リン酸オセルタミビル処方。死亡。突然死の疑い。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
14	B-07000599	女性	60歳代	150mg		白血球数減少 肺炎	死亡 死亡	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、白血球減少が発現。肺炎増悪。同日死亡。
15	B-07001280	男性	40歳代	150mg		死亡	死亡	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。翌日、患者宅を家族が向かい倒れていることを確認。他院へ搬送され、死亡確認。(本剤を服用していたか確認できず)
16	B-07001284	男性	30歳代	150mg		死亡	死亡	インフルエンザ陰性であったが、リン酸オセルタミビル服用開始。服用4日目、具合が悪く、病院へかかろうとして車を運転し、その途中で交通事故となる。救急車が到着した時にけいれんを認めた。搬送時もインフルエンザ陰性であった。



医療機関報告のうち、中外製薬(株)からの報告と重複しないものの概要(精神神経症状)(その2)  
(平成19年3月21日から4月17日までに報告されたもの)

性別	年齢代	日用量	併用薬	副作用	経過の概要
女	70歳代	150mg		幻覚	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。服用2日目に変な症状(部屋の中に多数の人。猿が出現。など)が出現したが、30分後に消えた。翌朝、本剤服用中止。頭重感あるが、その他不快感なし。
男	10歳代	150mg		異常行動	服用当日の夜、目を覚ますと暴れたり、騒いだり、外へ出て行こうとする異常行動があった。熱の下がった3日後にもリン酸オセルタミビルを服用していたが、異常行動はみられなかった。
女	60歳代	150mg		失見当識	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル75mg内服開始。夜、目が覚めたところ朝と勘違いした。自宅の室内でくつをはいたりしたが、そのまま寝た。翌朝も、日時の失見当識があったが、その後改善。本剤を内服したが著変なかった。
女	10歳未満	60mg		痙攣、幻覚	リン酸オセルタミビル服用30分後、全身痙攣が発現。意識あり。その30分後も痙攣発現。翌日も痙攣、幻覚発現。
男	10歳未満	69mg		意識レベルの低下	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル34.5mg 1回服用。翌日、朝も1回服用。その後、玄関より外に出ようとしているところを家族にとめられた。意識もうろうとしている様子だったとのこと。
男	10歳代	100mg		異常行動	インフルエンザB型の診断にてリン酸オセルタミビルを服用。服用当日、暴れた、叩いた、トイレに行くと言って玄関に行った。3日後も、暴れた、叩いた、訳のわからないことを言った。
女	10歳未満	80mg		恐怖、幻視、幻覚	インフルエンザB型の診断にてリン酸オセルタミビル40mgを服用。深夜、叫び、おびえ、起きてトイレに閉じこもる。落ち着くまで30分要した。翌日の深夜にもおびえ、幻覚があった。
女	10歳未満	20.1mg		幻覚	インフルエンザB型にて、リン酸オセルタミビル処方。服用当夜、当患者がいうのには、大きな鳥がいて美しいものだった。パタパタしてとんで行くので後を追いたかったといっている。
女	20歳代	150mg		落ち着きのなさ	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル処方。服用当日、異常に寂しがり家族に抱かれて1時間静かにしていたら回復した。
男	80歳代	150mg		幻覚	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル処方。2日後、朝まで計4カプセル内服。昼前より、急に変なことを言い出した。薬剤中止のみで改善した。
男	10歳未満	100mg		異常行動、譫妄	インフルエンザの診断にてリン酸オセルタミビル内服開始。朝・夕2回服用後、深夜、せいぜい呼吸し、何かにとりつかれたようなかんじで訳の分らないことを言う。1時間後におちつき、本人は覚えていない。
男	10歳未満	66mg		異常行動	インフルエンザAの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服薬1時間後、テーブルの上に昇ったり、たわごとなどの症状を無意識に行い、しばらくして消失。また2回目服薬後も、同様動作がみとめられたとのこと。
女	50歳代	75mg		意識変容状態、嘔吐	インフルエンザを疑われ、リン酸オセルタミビル75mg 1回内服し、その後安静臥床としていた。翌朝、トイレから出ようとした際に意識障害生じ、転倒、その後も立て続けに2回意識障害(数十秒以内)(計3回)で下肢打撲、自然軽快した。その後、2回嘔吐した。

医療機関報告のうち、中外製薬(株)からの報告と重複しないものの概要(精神神経症状)(その2)  
(平成19年3月21日から4月17日までに報告されたもの)

性別	年齢代	1日用量	併用薬	副作用	経過の概要
男	10歳代	150mg	セフポドキシム プロキシセチル 塩酸オロパタジン アセトアミノフェン	言葉もれ、激越	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル75mg 1回服用、数時間後より多弁となり、ハイとなった。その後、内服した際には、何事もなかった。
男	10歳未満	63mg		泣き	A型インフルエンザと診断。リン酸オセルタミビルによる治療を開始した。その夜に急に起きだして泣き出したりしたりする異常な行動が認められた。翌日再診時には意識は清明であった。
男	10歳未満	60mg		徘徊癖	インフルエンザA型にて、リン酸オセルタミビル服用し、その日の夜中に歩き回った。その後、服用続けるも異常行動なし。
男	10歳未満	64mg		激越	インフルエンザA疑い、リン酸オセルタミビル投与。3回目服用後、興奮して1時間くらい就眠せず。翌朝、服用するが特に問題はなかった。
女	80歳代	150mg		異常行動	インフルエンザ疑いにて朝から内服開始。投与3回目の後、話がちぐはぐで意味不明のことを語る。夜が明けるまで、ぶつぶつ話している。
女	70歳代	150mg		幻覚、妄想	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用2日後、幻覚、妄想がみられた。3日目の夕刻、パジャマから私服に着替えて、部屋の入り口まで這って出てきた。異常な発言有り。投与終了2日後にも、時々妄想有り。
女	80歳代	150mg		不眠症、譫妄	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3日目の夜、部屋の入り口に座り込んで、内容不詳のことを話し、その後も目がランランとして、睡眠せず。4日目、意味不明の発言あり。5日目、夜間ナースコール頻回にあり。内容不詳のことを言う。
女	10歳代	150mg		意識消失、痙攣	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用4日目、38~39℃続き咳がひどい。レントゲン撮影時5秒けいれん意識消失。1分後、意識レベル戻った。
男	10歳代	150mg		徘徊癖、大発作痙攣、意識消失	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用5~6時間後、異常行動(徘徊)。深夜、強直間代発作(10秒)、発熱あり。翌日早朝、トイレ歩行中意識消失(20~30秒)発熱なし。
男	10歳未満	110mg		錯乱状態、激越	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。眠前内服して2時間後夜驚症(錯乱して暴れる、泣く)をおこした。翌日も同様であった。午後は解熱し、36度台であった。翌々日は内服せず様子を見たところ異常なかった。
男	10歳代	150mg		譫妄	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日の朝、体温38.9℃。ムックリと起き出し、訳の分からないことを喋りだした。夜、やはりムックリと起きてウロウロし始めた。翌日問いただしても覚えていなかった。その後特に異常は出ず、3日程度の高熱期を経て軽快した。
男	10歳未満	54mg		異常行動	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル服用。約2時間後に急に立ち上がりうろろしたりして目がうつろ状態となる。同様な症状が服用後に出現。